

市議会全員協議会(令和4年6月28日) 主な質疑・回答要旨

資料1

項目大	質疑	回答
1	ICT ICTの活用については、有識者会議のまとめでも書かれているが、基本計画(素案)のパブコメでも意見があった。より効率的に事業を実施していくため、どのように保健センターに盛り込んでいくのか。	有識者会議や基本計画(素案)のパブコメでICTの活用について意見をいただいている。健康増進事業では、個人の情報をもとに分析を行い、効果的な事業を実施したり、リモート相談などが考えられる。ICTは、日進月歩のところもあるので、保健センターの施設整備では配線環境とか、基礎的な整備部分が考えられる。今後、設計段階で詳細な検討を進めていきたい。相談事業については、リモートでも良いもの、直接お会いして相談を行うべきものを、しっかり整理していきたい。
2	エントランス エントランス機能の中に、飲料の自動販売機の検討がされているようだが、自動販売機ではなく、むさしのエコreゾートにあるような給水機やエコボトルの導入を検討いただきたい。	ご意見を参考にさせていただく。
3	エントランス エントランスの魅力を向上するため、カフェをいれたり、ショップをいれたりということも考えられるが検討されているか。食事というところでは、近隣に食事ができる七福があるが、そことの連携はどう考えているか。	七福との連携は、庁内の会議においても検討されたことがある。エントランスへのカフェの設置については、妊婦が来館する施設でもあるため、設置することは難しいと考えている。
4	エントランス 相談機能として駆け込み寺のような場所になるためには、普段から気軽に来られることが大切だ。「ここに居ても良い」ということが伝わる施設とすることで、エントランスフロアが活かされてくると思うが、ここに記載のあるものだけではそうは伝わらない。エントランスフロアについて現時点で考えがあれば教えていただきたい。	エントランスフロアについて「立ち寄りやすい所である」、ということが大切と考えている。様々な相談や活動につながることを想定している。具体策については、これから検討する。

	項目大	質疑	回答
5	計画素案	<p>保健所再編などの話も言われている中、保健センターの大規模改修、増築に影響があっては困る。先んじてやると、国や都の動きに振り回されてきた経緯があり心配である。</p> <p>また、子ども子育て支援機能が目立ちすぎている。本来は保健センターの大規模改修に伴う子ども子育て機能との連携という話であった。資料1の8頁にも記載されているとおり、「保健センターの機能充実」これが一番大切なことだが、誤解されることもある。組織のあり方や連携の仕方を検討することが重要。</p>	<p>保健センターの増築及び大規模改修に関しては、新たに保健所の機能を持つことは想定していない。</p>
6	健康増進	<p>健康づくり事業団が独立していることは有効なことと思うので、行政よりも動きのよい組織となっていきたい。</p>	<p>事業団の健康づくり支援センターでは、健康づくり推進員や人材バンクの制度があるが、推進員には、地域で活動する市民の方に様々な情報を伝えてもらったり、健康づくりのサポートをやってもらっている。専門性については、人材バンクでは栄養士や保健師、運動管理士といった専門職がいて、その中で様々な健康のサポートを行っている。そういった活動の中で、市民ニーズについては把握できるような体制はつくっていると考えている。</p>
7	健診・検診	<p>有識者会議で、より先進的な医療機器を入れるべきではないか、という議論はなかったか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な医療機器をいれるという意見はない。事業団が保有する医療機器と依頼検査等の目的は、現在では、かかりつけ医のサポートをするという位置づけが強いというご意見があった。 ・有識者会議の中で議論は無かったが、普段の医療連携の会議の中で検討を行い、心エコーを導入するなど、必要なものについては拡充している。
8	健診・検診	<p>35年前と同様に必要な先進医療機器があれば議論をしてほしい。</p>	<p>【要望】</p>
9	健診・検診	<p>X線機器などは、建物の上層階に設置するより、地下に設置した方が、費用が抑えられるのではないか。</p>	<p>地下に設置した方が、費用が抑えられるということは承知している。今後検討したい。</p>

	項目大	質疑	回答
10	健診・検診	武蔵境クリニック、にしくぼ診療所、松井健診クリニック、吉祥寺南病院、武蔵野赤十字病院などは日曜日は休みではあるが人間ドックを行っている。市では補助対象を健康づくり事業団での人間ドックのみとしているが、補助金を出して他病院でも受診できるというところを考える必要があるのではないか。	人間ドックの市の補助については、市民への補助ではなく、健康づくり事業団が実施する事業の補助という形で行っている。一次予防、二次予防を行っている健康づくり事業団の特徴的な事業と考えている。市としては、例えば特定健診、後期高齢者の健診、若年健診なども含めて、様々な健診機会を確保していきたいと考えている。
11	健診・検診	保健センターには医療検査機器などがあり地域医療の要となる施設であることは理解した。そういった視点をもって、この検査はどの程度高度な検査まで行うべきか、考えを伺う。	診療所で検査できなかった部分を、経験豊富な医師がおり、読影もできる健康づくり事業団等で行い、その検査結果をかかりつけ医に戻し必要があれば、例えば武蔵野赤十字病院につなぐことも考えられる。また、検診自体もがん検診も含め、市内の医療機関だけは、希望者を受け入れるということは難しい。そういった意味で、市内の医療機関の検診も補完するという視点からも健康づくり事業団の役割は非常に大きいと、有識者会議の先生方からもご意見をいただいている。今後その方向は維持していきたい。
12	建設費用	必要費用として40億円と想定されているが、建築資材のコストも変わってきているところで、そのあたりの増減を考えているか。	詳細な費用の算定は、設計を進めていかないと難しい。建設費用が高騰しているということは認識している。
13	災害対策 ・感染症	感染症対策を保健センターが中心となって行っていることに異論はないが、市内全域でどの施設がワクチン接種会場に使えるのか、予め考えておく必要があるのではないかと。想定をしておけば、保健センターで接種をする必要はないと思われる。逆に、通常の場合でも様々な方が、相談機能も含めて来館されるので、保健センターは接種会場としてを使わないほうが良いのではないかと。	現在3駅圏でワクチン接種をしているが、初動期に保健センターを活用したいという意図である。公共施設は貸出しなどの兼ね合いで、当初は活用が難しいことがあった。

	項目大	質疑	回答
14	災害対策 ・感染症	感染症対策として施設の使い方の考えは。	平常時は会議室として使用するスペースを、非常時に柔軟に使えるスペースとしての配置を考えている。エントランスフロアは、平常時に多目的ルームやサークル支援スペースなどとしての活用を想定しているが、非常時にはワクチン接種等の場所として考えている。
15	災害対策 ・感染症	保健センターは発災時には医療拠点になるとのことだが、市の中心部にあるので、市役所や総合体育館、図書館などとの連携が必要になるが、そのあたりはどのように考えているのか。	災害時医療については、武蔵野赤十字病院に災害時医療救護本部を設置し、市の災害対策本部と連携をとり対応をしていく。保健センターは、災害時は薬事センターになる。有識者会議では、帰宅困難者対策を実施する施設のサポートについて意見があったので、地域防災計画の見直しと合わせて検討していきたい。
16	災害対策 ・感染症	災害時対応として、耐震化の強化のために、例えばはすかいを入れなければいけないとか、新たに既存の建物に加えないといけないことはあるか。また、自前の自家発電設備を整備することは当然と思うがいかがか。	公共施設であれば、耐震強度は、通常でも大体1.25倍ということ掲げている。災害時の医療拠点という大事な役割もあるため、そのあたりも含め、今後検討していきたい。非常用発電も設計の中で考えていく。また、太陽光発電を設置するのであれば、非常用のコンセントを使えるようにしていく必要があると思っている。蓄電池については、地産地消プロジェクトで実績もあるので、災害という意味では必要なものと考えため、検討していく。
17	自殺 総合対策	自殺総合対策について有識者会議の中で取り上げているが、自殺総合対策は難しいと思っている。都ではメールやSNSなどで相談事業をやっているが、保健センターに場所を作って実施することをどのように考えているのか。相談事業など、できるのであれば進めていただければよい。窓口をつくってというのはハードルが高いようにも思う。	有識者会議では、ICT等を使った相談事業と一緒に、相談窓口があれば良いのではないか、という意見があった。市としては、現時点では、相談を全部受けるマンパワーも無いため、NPO法人のミューに委託をして相談事業等はやっている。その事業をまずはICTを使ってアクセスしやすくしたり、そのほかの健診なり相談事業で来たときに、相談員などが気づいて必要なところにつなげる、そういったことをやったらどうかという意見もいただいた。
18	施設規模	4500㎡の増築が必要なのか。	基本的には保健センターの機能を維持しながら、既存の保健センターの大規模改修を行う必要があるため、同等規模の増築が必要と考えている。また、現在でも、保健センターの開設以来、保健所等からの様々な事業の移管やワクチン接種事業の実施により、施設面積は不足している。

	項目大	質疑	回答
19	施設規模	敷地容積率の限界まで面積を必要とするのか。これから子どもが減っていく、また、近隣の環境を守っていくという意味で確認させていただきたい。	保健センターの事業を継続しながら大規模改修を行うことが必要のため、旧中央図書館の敷地に増築する建物は、現在の保健センターと同程度の容積率60%、建ぺい率200%程度が必要と考えている。近隣の方から陳情もいただいております、こうした必要機能を整備したうえで、十分な配慮を行いたい。
20	施設全体の考え方	会議室・倉庫、相談室、非常時倉庫などは、この程度本当に必要なのか。	相談室の必要数はこれから精査する。ただし、相談業務の多い施設となるので、一定程度は必要と思っている。会議室は現保健センターで不足している機能で、非常時の転用スペースとしても必要と考えている。
21	施設全体の考え方	子ども子育て支援について、保健センターに集約してしまうのは良くないと思うので、サテライトやオンラインを活用して、地域差をつくらないようにしていただきたい。	ここに全てを集結させるものではない。地域の子ども子育ての相談窓口や、健康増進活動についていえば健康づくり推進員など地域に根差している体制は残していく。保健センターは中核的機能を担うものと考えている。
22	施設全体の考え方	I C TやD Xを進めるのであれば相談室は不要ではないか。	I C Tを活用した相談等は考えられるが、妊婦面接などは対面で雰囲気を感じながら専門職が行うことが重要なので、相談室は必要。リモートでも可能な相談、直接、お会いする必要がある相談などを整理していきたい。
23	施設全体の考え方	「複合化」という表現が今回の施設には一致しないのではないかと思う。「包括化」という表現が適しているのではないか。「複合化」というと違うものが一つの建物にはいるイメージを持つ。「複合化」という言葉をどう考えるか。	もともとは大規模改修から始まった話なので、「複合化」と表現しているが、言葉のとらえ方はひとそれぞれで難しい。どう見せていくかは今後の課題と認識している。
24	施設全体の考え方	融通が利く施設にしていく必要がある。多少余裕のあるスペースがあることは大切。いざというときに様々に使える施設にしていきたい。	【要望】

	項目大	質疑	回答
25	施設全体の考え方	今後も社会情勢の中で必要な機能は変わってくる。学校改築の話でもあったが、変化を見据えて設計などを行う必要があるがどのようにお考えか。	柔軟な建付けが大切と考えている。
26	設え	いくつかある会議室の必要性、スペースの活用方法を考えていただきたい。	会議室については、職員の会議としての利用はもちろんであるが、市民の方が講座や研修を行ったり、支援機関のカンファレンスを行ったりということがある。
27	設え	出入口の話があったが、非常口との兼ね合いはどうか。出入口が多いと防犯上の懸案もあると思うがいかがか。	出入口が多いことのメリットデメリットはある。具体的な出入り口については設計段階で検討するが、防犯についても土日に使う機能もあるため、セキュリティ管理についても考える必要がある。
28	耐用年数	大規模改修する建物はいつまで使用するか。	想定通り進むと既存の保健センターは築40年ということになり、その10年後にコンクリート調査をすることになる。
29	耐用年数	増築する建物についてはいつまで使用するか。	60年を想定している。現在の保健センターとの相違は、全館を全てをとめることなく使える施設とすること。
30	動線	非常時に備蓄品の運び出しについて有識者から意見があったと思うが、ハード部分は重要と考えている。基本計画には反映されるのか。	施設の動線を検討することは重要。非常時倉庫の動線については車が直接入れるような動線を考えている。市民の動線を重要視しながら、設計を進めていきたい。
31	動線	つながりは大切であるが、一方でプライバシーが重要になる相談もある。エントランスフロアを経由しないルートはどのように考えているか。資料1の10頁に臨床検査センターの動線を一般の方と分けるよう記載されている。エリア分離をするために出入口や動線が多くあると良いと記載もあるが、出入口が多くあると混乱もあると思う。おおよそどのくらいと考えているか。	入口は、エントランスやプライバシーに配慮された入口、臨床検査センターの入口などが考えられる。詳細は設計で決定していく。常に入口を多く持つというよりも、非常時に活用するイメージである。

	項目大	質疑	回答
32	妊娠期から切れ目の無い支援	子育て施設は大切であるということはわかるが、前面に出過ぎていることが気になっていた。こども家庭センターとの考え方はどうか。国との連携が大切な中で、今回のビジョンをどのように考えているか。	児童福祉法が改正され、国では子ども家庭庁としてこれまでの子育て支援と母子保健を一緒にするということが、今回の保健センターについてはこの流れと一致している。令和3年に設置をした子育て世代包括支援センターがあるが、令和6年からはこども家庭センターの設置が努力義務となっている。保健センターができるのは先になるので、こども家庭センターの仕組みに合わせた体制をとったうえで、保健センターに移るまでに体制を再検討する必要がある。
33	妊娠期から切れ目の無い支援	国は3つの部署にまたがってやっているところを一緒にすることはよいことと思っている。児童福祉法や母子保健法が改正され、今回保健センターで一緒にする。国に先行してこの事業を進めていくのは難しいのではないかと懸念している。	来年度に子ども家庭庁ができ、令和6年度に児童福祉法が改正される。総合拠点等、先に市の体制をつくる。そのうえで保健センターの増築・複合施設整備にともない移転する際に再検討する形になる。国の流れを見据えて体制をつくっていく。
34	妊娠期から切れ目の無い支援	子ども自身からの相談を受ける必要があり、チャレンジルームという対象をしぼったものではなく、広く相談を受けることについてどのように想定されているのか。	子どもと子育て家庭への支援のあり方有識者会議において、子どもの居場所やひろば、権利擁護事業などが必要というところは言われており、計画への反映を検討している。
35	妊娠期から切れ目の無い支援	チャレンジルームの話もでていますが、地下に押し込めることなくこの施設で一番素晴らしい場所に設置していただきたい。	【要望】
36	妊娠期から切れ目の無い支援	チャレンジルームについて複合化の優先順位があがっているが何故か。	有識者会議の意見としては、チャレンジルームと教育相談機能は一緒にあることで機能を発揮するということがあった。
37	妊娠期から切れ目の無い支援	チャレンジルームを面積上の理由で外すことはないようにとお願いしたい。	貴重なご意見として受け止めたい。【要望】

	項目大	質疑	回答
38	有識者会議	子ども子育て分野については子どもと子育て家庭への支援のあり方、有識者会議で検討があったが、保健センターの機能についてはソフトの部分で検討が足りていなかったように思う。今回有識者会議で新たな意見がでたことはよかった。せっかくなので、ソフトの検討を進めてほしい。市民が置き去りにされないようにしていただきたい。	【要望】
39	有識者会議	有識者会議を踏まえて、最適化・スクラップアンドビルドはどのように行うのか。設備、費用、ランニングコスト、スペースの議論はあったのか。	有識者会議の位置づけは、専門家委員より保健センターの機能について意見をもらうものである。特にスペースを要するものとしては、災害などに備えた設備、健診・検診については地域医療を支えているもので重要、と意見をもらっている。何をもち最適化というかだが、保健センターに必要な機能のご意見をいただいている。
40	有識者会議	有識者会議でいただいた意見のうち重要と思われるものはどのようなものか。	いただいたご意見は全て貴重なものと認識しているが、各世代へのきめ細やかな対応やDX、健診・検診の意義、災害時の医療体制については受援体制の確立などといったご意見をいただいた。
41	有識者会議	有識者会議の1～2回を傍聴したが、未来の姿を語っていて良いと思う。専門家の方にDXやICTの具体をもっと語っていただきたい。	DXの導入について、有識者会議から一定の考え方をいただいた。技術的な最新のDXについては、有識者会議の委員の方々は、技術分野での専門家ではない。建物が完成するのは、おおよそ5年後であり、更なる検討は健康推進計画のなかで行っていくものと考えている。施設の仕様を決めていくなかではDXの細かい部分までは決めていく必要はないと考えている。
42	有識者会議	有識者会議は必要であれば1～2回追加しても良いと思うが。	1から3回目の会議で十分意見はいただいていると考えている。4回目は足りない意見をいただくことと、会議のまとめを予定している。DXの具体策は計画案に書くものではなく、方向性を示すものと考えている。

	項目大	質疑	回答
43	その他	旧保健センターの活用方法によっては、建て直すのがよいのではないかと。15億円程度でできるのではないかと思う。大規模改修すると20～30年しか持たないが、コスト的にどうなのか。	【意見】
44	その他	旧保健センターを建て替えるのであれば、地下はRCで地上は鉄骨で出来ると言っておく。旧保健センターの活用方法を検討いただきたい。	【要望】
45	その他	他自治体が驚くような、奇想天外までいかななくてもないものに挑戦するくらいのことをしてもらえるとよい。	【要望】